

# JAUW 茨城支部だより

2017年度-2号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2017年9月2日 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)茨城支部 発行

残暑お見舞い申し上げます。天候不順の夏、皆様はどのようにお過ごしでしたか？  
私は、もっぱら不規則勤務の娘の育児支援をしながら過ごしていました。長岡花火ライブ中継をテレビ鑑賞した3歳になる孫は大感激。それではと、生の千波湖花火を現地で見せたいと親子で出かけたのですが、30分と待たずに汗と涙でグショグショになって帰ってきました。花火のズドンという爆音は、3歳の幼児には恐怖以外の何物でもなかったようです。夏の風物詩、花火は美と平和のシンボル。しかし、その打ち上げ音は爆弾と同じ音です。当分、花火はテレビ鑑賞か遠くからになるようです。



戦後72年を経て、やっと核兵器禁止条約が採択されました。条例の前文に初めて「ヒバクシャにもたらされた苦痛」という文言が入り、70年来の被爆者の思いに沿った条文になっているということです。また、国の安全より人類の安全を重視する視点が示され、核保有国の正当性に疑問を投げかけその転換を迫る条文にもなっていると言います。

核の傘にある我が国は、唯一の被爆国でありながら交渉会議にすら参加しませんでした。長崎被爆者の一人が総理に「あなたはどこの国の総理ですか？」と問いかけました。「核兵器のない世界への入り口」となったと言われる今回の条約を契機として、わが国には核なき世界への強力なリーダーシップが求められます。そして、北朝鮮のミサイル攻撃がアジアの緊張を増している今、大空が昼も夜も安心して眺め過ごせる普通の暮らしができる平和社会を維持していかなくてはと思うこの頃です。

(：支部長 M. K)

## ★第6回全国定時総会に出席して

5月14日(日)横浜ベイシェラトンホテル&タワーズの「浜風」の間で行われた総会に初めて出席してきました。会員になって日も浅い私は、りっぱな会場での総会とともに全国から126名という参加者名簿を見て、誇り高き女性の伝統のある会であることを実感した次第です。長く会員として活動された方々の発言から、これまでの歴史を推測することに努めました。時代が大きく変わり、大学で学ぶ女子学生が普通に見られる現在は、女性の地位向上のために大きく貢献された先輩の皆さまのご努力のおかげと改めて思いました。

議事は鷺見八重子会長さんから開会の辞があり、貸貸対照表・正味財産増減計算書、事業報告、理事2名の選任、2016年事業報告、2017年事業計画及び予算などが審議されました。時期総会は静岡で平成30年5月12、13日となりました。牧島悠美子副会長さんが閉会の辞をなさいました。

審議の中で、今後の大学女性協会のあり方が問われていることを感じました。公的目的資質実績と予測によると、6年後には金融資産がなくなり、公益目的事業が実施できなくなるということで、会員の拡大・事業の見直しに務めていくと鷺見会長さんがお話されました。

時代は大きく変わりましたが、女性が一人の人間として能力を発揮して生きていくには課題が山積です。大学女性協会の役割は大きいと思っています。

いろいろ知ることができ、出席して良かったです。

(Y・N)

## ★第6回定時会員総会参加と本部福祉委員になって

去る、5月13日14日、神奈川支部主催で横浜ベイシェラントンホテルにて定時総会が開催されました。私は、懇親会と総会に出席させていただきました。総会では前年度と今年度会計報告・行事報告に続き、去年南アフリカ共和国のケープタウンで開催された国際大会の報告を参加者から、映像を交えて報告があり、IFUWからGWI (Graduate

Women International)の名称変更されたことも報告され女性協会への今後の在り方など討議が繰り広げられました。

さて、私ごとですが今年度より本部の社会福祉委員にさせてもらうことになりました。

大学院博士課程前期（社会福祉社会学専攻）以来約35年間の学会や国際ボランティア活動、地域社会福祉活動、又、教職活動など経験を少しでもお役に立てたらと思っております。

(T・T)

## ★ありがとうございました

社会的にたくさんの活躍をされつつ趣味も多彩、本当に多くの人の心に様々な深い訓えを残してくださった静間様。先日の偲ぶ会で改めてその思いを深く感じました。たくさんの参加者たちが皆、「ありがとう」と述べられ、その生き方を学び継ぎたいという雰囲気でした。私は、感動しました。私もお礼を述べたくて来たのですから。

私は大学女性協会に長いこと所属していますが、何の働きもせず只々好きな事だけに参加、旅行やゴルフ等々でさんざんお世話になりました。どんな時にも穏やかに明るくなごやかにしっかり導いて下さり、私は楽しい思い出ばかり頂きました。

ローズヴィラに入居のお知らせを頂き、そのうち落ち着いた頃お会いしたいと思っていました。超多忙な最中にも決してせかせかした様子はお見せにならなかった。お仕事の大変さなど一言もおっしゃらず、いつも穏やかにしかもてきぱきとなさっていらっしやいました。お会いするたびに楽しさとともにたくさんのことを学ばせて頂きました。

偲ぶ会に出席して、色々な分野で一緒に活躍なさった方々がみな感謝の思いを抱いていらっしやる様子を拝見、きっと皆様方もますます活躍されていくだろうと確信しました。

静間様はきっと喜んでいらっしやるでしょう。そして、あの優しかった背の君と一緒に天国から時々私たちを見て下さるでしょう。 合掌 (M・K)



能面：静間さんが彫ったものだそうです。静間さんから頂いた方が持ってきてくださいました。

## ★ オラ（コンニチハ）！！スペイン

6月4日から10日まで1週間スペインに旅しました。日本から飛行機で約13時間、とても遠い国でした。行ってみてとても近い国になりました。

マドリードでは、レイナソフィア美術館、スペイン王宮、フラメンコ、トルド・・グレコの家・カテドラル（スペイン・カトリック総本山）、プラド美術館等を観光、バルセロナでは、サグラダファミリア、カサミラ、グエル公園等を観光しました。

特に、トルドとサグラダファミリアは強く印象に残りました。トルドは、城砦に囲まれた丘の上に位置していて、細い道、レンガの敷かれた道をひたすら歩きました。30度を超える暑さで日差しも強かったのですが、乾燥しているので汗はあまりかきませんでした。サグラダファミリアをバスの中から眺めた時は高い塔がいくつもあるというくらいの感覚でしたが、目の前にそびえたつ荘厳な姿に圧倒されました。2026年には完成するということですが、完成を是非見たいと思いました。

スペインは日没が遅く午後9時ぐらいが夕暮れ感じです。夕食は、午後8時ぐらいからが一般的で、ゆっくりと家族みんなで食事をとるということでした。家族のつながりも強いといわれています。

スペインは芸術の国、もう一度ゆっくり鑑賞したい国でした。

(T・A)



トルド



サグラダ・ファミリア



## 水戸市男女平等参画月間事業の案内

- ◇ パネルディスカッション 「先輩女子のキャリアトーク」 茨城支部主催
  - ・パネリスト 税理士 川崎 由紀子さん 社会労務士 川田 志津子さん  
茨城キリスト教大学准教授 中島 美那子さん
  - ・コーディネーター 消費生活専門相談員 松本 由美子さん
  - ・日時：9月30日（土）10時～12時  
会場：みと文化交流プラザ 201 会議室
  
- ◇ ヒューマンライフシンポジウム 2017
  - 主催 水戸市 企画運営 NPO法人 M・I・T・O 21  
後援/ NHK水戸放送局・茨城放送
  - ・講演「新しい生き方・働きかたのために」  
～人生 100 年時代、「若者」はいつまで幸福か？～
  - ・講師：社会学者 古市 憲寿氏
  - ・日時：9月30日（土）午後 1 時 30 分～  
会場：みと文化交流プラザ 6 階



### 編集後記

北朝鮮とアメリカ、両国トップの「正気!!」と言いたくなるような言動に、戦争が始まるのではと思ってしまう。トランプ氏が大統領になることは無いだろうという、大方の人たちの予想は見事に外れました。イギリスの EU 離脱を問う国民投票の結果も然り。IS のテロも連日世界の何処かで起きており収まる気配がありません。何が起こるか解らない、平穏な日常生活が突然失われるではないかという恐れが拭えません。

静間先生を偲ぶ会での長谷川先生の「皆さん悲しくはないでしょう。彼女は多彩な趣味をもち、様々な場所で本当に頑張って最後まで生きました。」が心に響きました。世界情勢は本当に不安定。でも、最後まで自分にできることを一所懸命にやり（静間先生のようにはなれませんが）、生を全うしたいと心から思いました。

（夢見る昔少女）